

# 刈遅れ・胴割れにご注意！



今年は登熟期の雨天による日照不足や低温の影響により圃場での成熟差が発生しています。



## 1: 刈り遅れと水分管理にご注意

熟度に差があり、水分ムラが大変大きくなっています。また、水分が20%以下の刈り遅れ傾向も見られます。

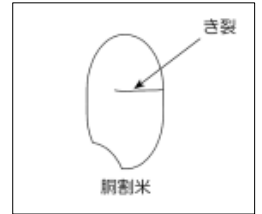
水分測定装置が低水分を採取し、乾燥運転を継続出来ない時や乾燥後の水分と出荷時の水分に差が出る事があります。

調質（休止）乾燥を行い、初回乾燥では水分を1%高く止め、乾燥停止水分と実水分の差を確認してください。

※ 糶摺り前には、再度、手動水分測定器でご確認をお願いいたします。

## 2: 胴割れにご注意ください

胴割れの発生情報が有ります。熟度に差がある時は、成熟した糶に重度の胴割れが発生する事があります。圃場で軽度の胴割れが発見された場合も、早めに収穫すると共に低温でゆっくり乾燥させてください。



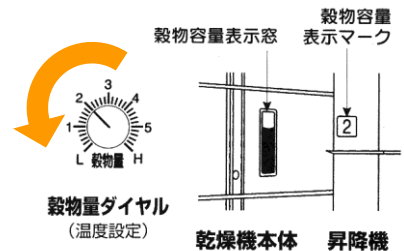
### 《対処法》① 低温でゆっくり

穀物量ダイヤルを下げます。

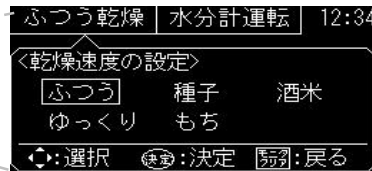
例. 「3」→「2」  
(約5℃下がります)



- ・ 温度：さがります
- ・ 乾減率：ゆるやかになります
- ・ 循環：機械が最適に調整します

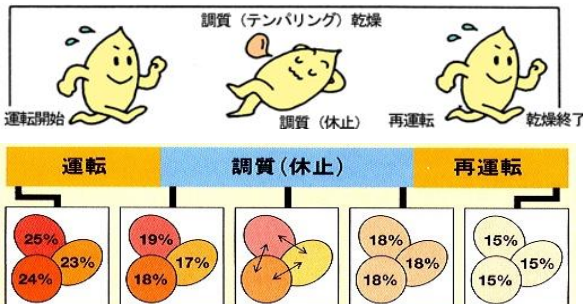


### 乾燥速度設定画面



弊社最新「ウインディネックス」乾燥機の場合は、乾燥速度の設定を「ふつう」→「ゆっくり」に変更していただくと、ゆっくり乾燥します

### 《対処法》② 調質(休止)乾燥・2段乾燥



※ 調質（休止）乾燥とは、18～19%の水分まで通常の乾燥を行い、その後、完全休止（5時間以上が理想）する事で水分のムラを少なくすると共に、穀温を下げ胴割れの予防も行います。

※ ご注意：送風循環せず完全に乾燥機を停止します。